

照準を定め 果敢にチャレンジしよう

夏期休業前に保護者懇談会が行われ、保護者の方の理解を得て自分の進路希望を明確にし、休業中は受験等に向けて懸命に取り組んだ人が多かったのではないかと思います。休業中は学習マラソンⅡが地域でのコロナ感染の拡大を背景に中止に追い込まれましたが、学習マラソンⅠ、佐久総合病院医療職ガイダンスなどに参加した生徒の皆さんの表情をみるにつけ、自分が決めた進路目標を実現するために「果敢にチャレンジ」しているなど感じた教職員は私だけではないと思います。

学習マラソンⅠでは、信学会上田予備学校の茅野崇先生をお招きし、2 日間の講義をお願いしました。浪人生と現役生の両方をご指導されている先生ですから現役生には足りないノウハウを英語の講義を通じて十分に注入していただきました。先生曰く、「色々な大学があるけれど、標準の大学が皆さんに期待する学力レベルは『共通テスト7割』。そこまで引き上げなければ大学での授業についていけない。」学習マラソンに参加できなかった大学受験希望の皆さんもいましようから、この通信で茅野先生のメッセージを伝えます。

夏期休業が明けて約1週間。いまだコロナの終息が見通せない中、2学期がスタートしました。進学希望者は総合型入試、推薦入試に対する対策(小論文や面接など)、また共通テストをはじめとする一般入試への対応・・・等々、日々の授業や学習課題に加えて取り組まなければならないことが沢山あります。就職希望者にとっては民間は9月中旬の試験に向けた準備、公務員はそれぞれの職種で設定されている1次試験、2次試験への対応。「敵を知り、己を知らば百戦して危うからず」です。目指す目標(照準)を明確にして、健康を維持し、果敢にチャレンジしてください。2学期以降はそういう時間にしなければ目標達成はかなわないでしょう。

一方で3学年としての生活も半分が過ぎようとしており、高校生活もまとめの段階に入ります。自己実現を遂げることは最も大切な目標ですが、自分のことだけを考えるのではなく、自分以外の仲間、クラスなどのことも考えた精神生活をおくって欲しいと願っています。

大学入学共通テストについてお話しします

■実施期日は令和4年1月15日(土)・16日(日)

■出願期間は令和3年9月27日(月)～10月7日(木)

■国公立大・私立大・短大を目指す人は受験が必要となるテストです。

私大・短大は『大学入学共通テスト利用入試』を受験する場合に必要です。

私大・短大の場合は学校が指定する受験会場で一般受験をすることが可能ですが共通テストを地元で受けておけばその成績で出願できる試験もあるということです。コロナ禍にあってあちらこちらと個々の受験会場へ向かわなくても済むメリットがあります。

■推薦入試で大学等合格を目指す人も入試の結果によっては一般受験で合格を目指す必要がなくなる場合があります。**推薦入試の結果が出てからの大学入学共通テストの出願はできません。また、指定校推薦入試で大学や短大を目指す人も学校から受験の是非を問われたりする場合があります。**「早期に合格を決めて、そのあとは楽になりたい」という人がいるかも知れませんが大学生として必要な知識や学ぶ力を継続してつけていくためには高校在学中に「大学入学共通テスト」に向けて熱心に学習し、受験することが望ましいと考えます。

■どのような受験形態になるか現時点ではっきりしない人も説明会(9月3日予定)には参加するようにしてください。

■受験料は2教科以下は¥12,000 3教科以上は¥18,000です。

小論文指導・面接指導について

「小論文指導」・・・入試等で小論文が必要で指導を希望する生徒に対し、近日中に案内します。

「面接指導」・・・入試、就職試験などで面接が必要な生徒は、お願いをしたい先生のもとに直接出向き、日時などを申し合わせ指導していただいでください。その際、進路指導室前にある「面接練習記録用紙」を活用してください。